

とある平日
午後四時—

最近ボクは
ますます：

学生 吉野まこと

アパート隣に住む人妻
みずほさんから目が離せない—!!

どうしてもいれたい!!

オクサマ
隣 0930

な：っ！
なんてかつこで
外でてんだよ：!!







いや：ボクもう
何もかも手に
つかないんだ!!

みずほサンで
頭いっぱいなんだ
：！

えっ!?



ままだ
おっ立ってるわ
：！



あたしなんかより
学校の若い女の子
のが：

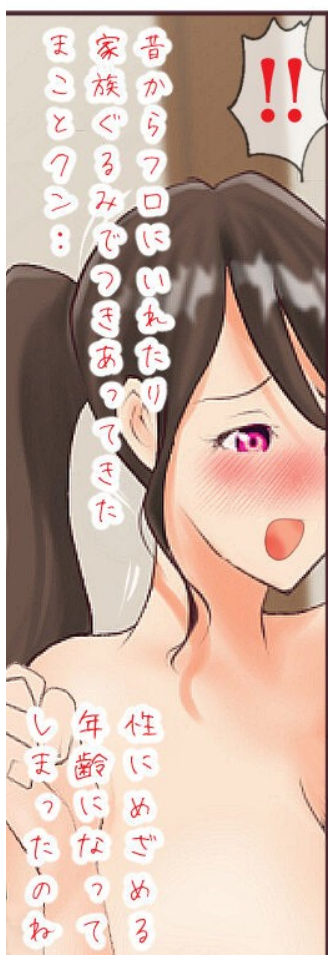
ちがう
ちがう



来年受験なのに!
毎日毎日
みずほさんの裸が
頭をよぎって!!

そ：んな

隣にこんな
グラマラスな
人がいるんだ
もん!!



!!
昔からフロにいらたり
家族ぐるみでつきあってきた
まことワン：



みずほさん
じゃなきゃ
だめなんだよ!!!



若い女にはだせない
ムンムン匂い立つ色気
むっちむっちボディ!!

ボクもう
虜なんだ

性にめざめる
年齢になって
しまったのわ



みずほさんで
ドーテーすてたい
んだっ!!!

がっばっ



みずほさん!!!!

ボク!!

家族もちようど
いない!!
ふたりきりだ!!
これは神がくれた
千載一遇の
チャンスだ!!



あ：たし
ダンナも子もいるし
：そーゆーのは
初カノにとついたら

どうしょ：
これから夕食の買い物
行くとこなのに
！

オナナとして
ちよつと
嬉しかったけど：

いいや!!
ボカあ本気だ
!!



ボクの童貞
捨てさせて：!!

おねがいっ



えええっ
：
あたしで
!?

お願いっ!!
このとおりだよ!!
みずほさんじゃなきゃ
いやなんだようっ

ギンギン

は：初めての女性経験一人目が：あたし!?





全く：
しかたない子ねえ

うおおお
!!

んもお
：
ゆつてないの
にい!!

がばあ

いっだってそう
私にだだをこねる

そして
私も私で

この子を助けたいと
思ってしまう

もももも

わんわん
わんわん

わが子のようで：
ほっとけなくて：

くふう
!!

ほんと今回だけよ

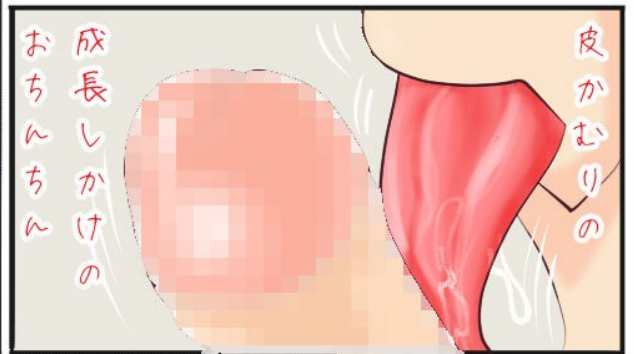
ったく：
一肌脱いでやる
とするか

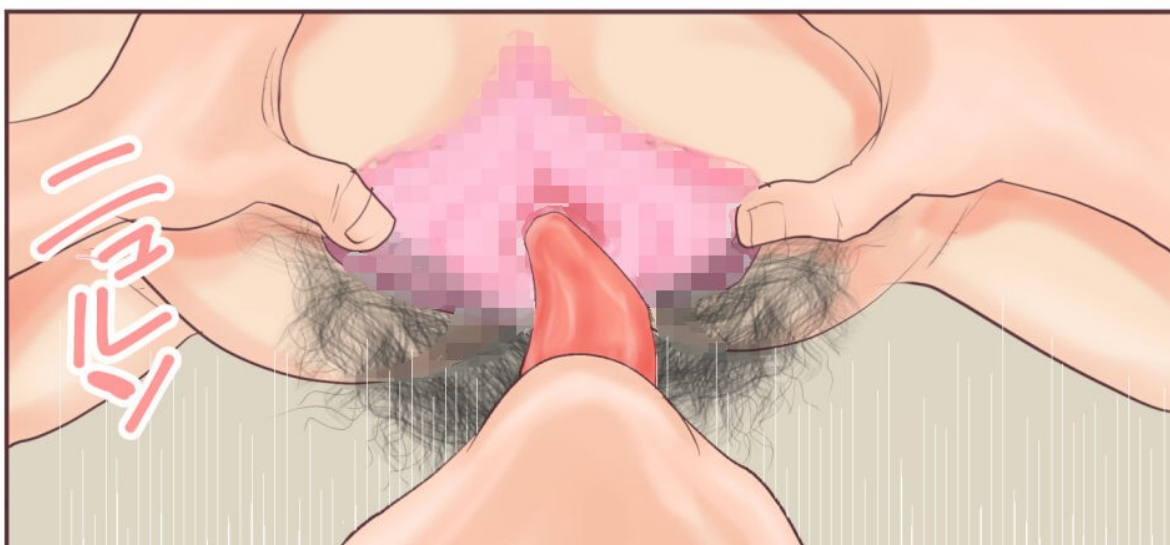
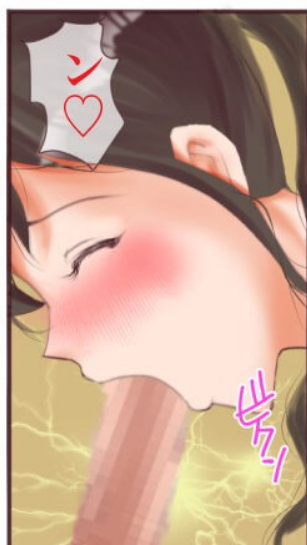
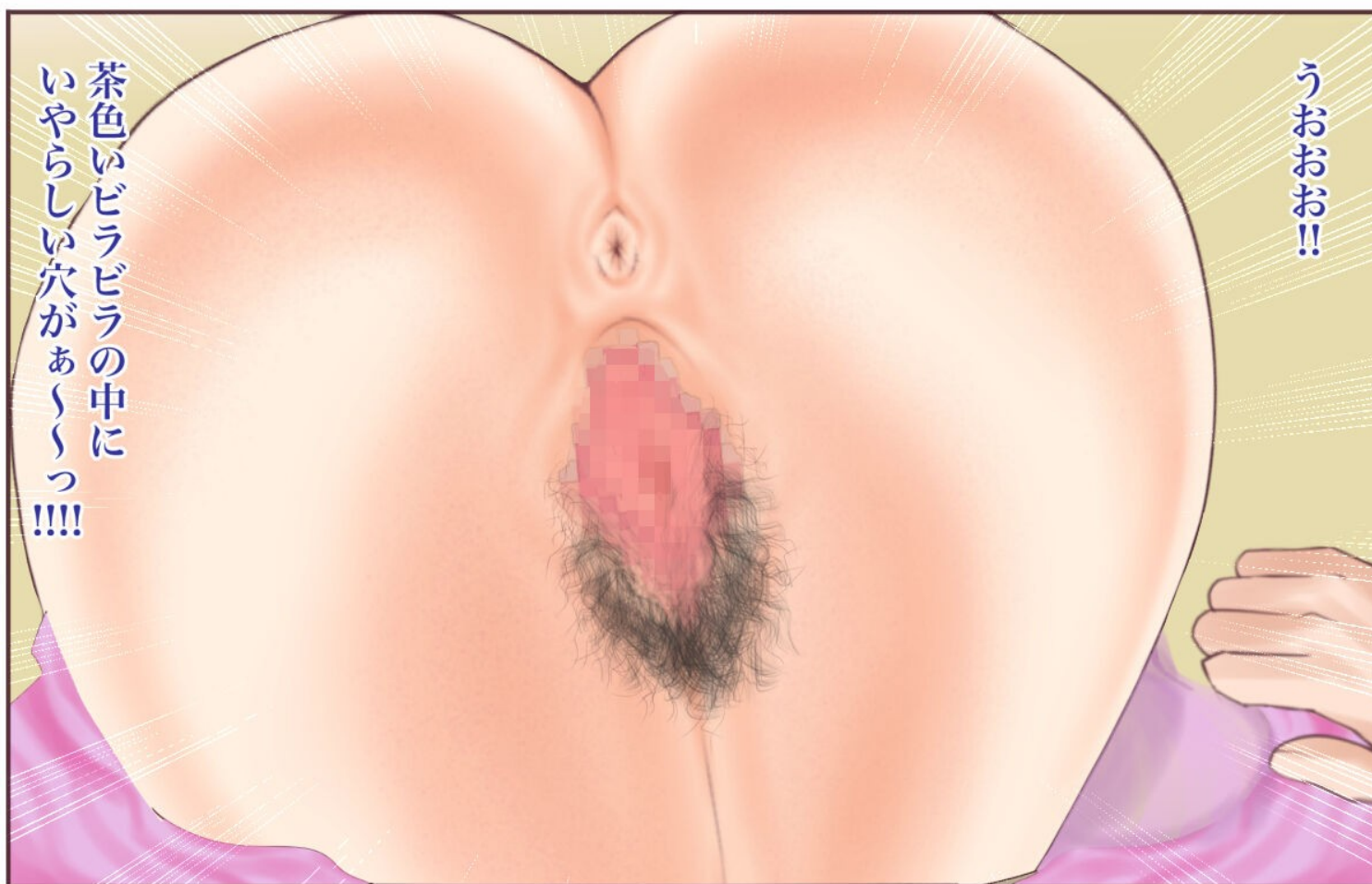
カラダ
こっち
向けて！

△

△

△





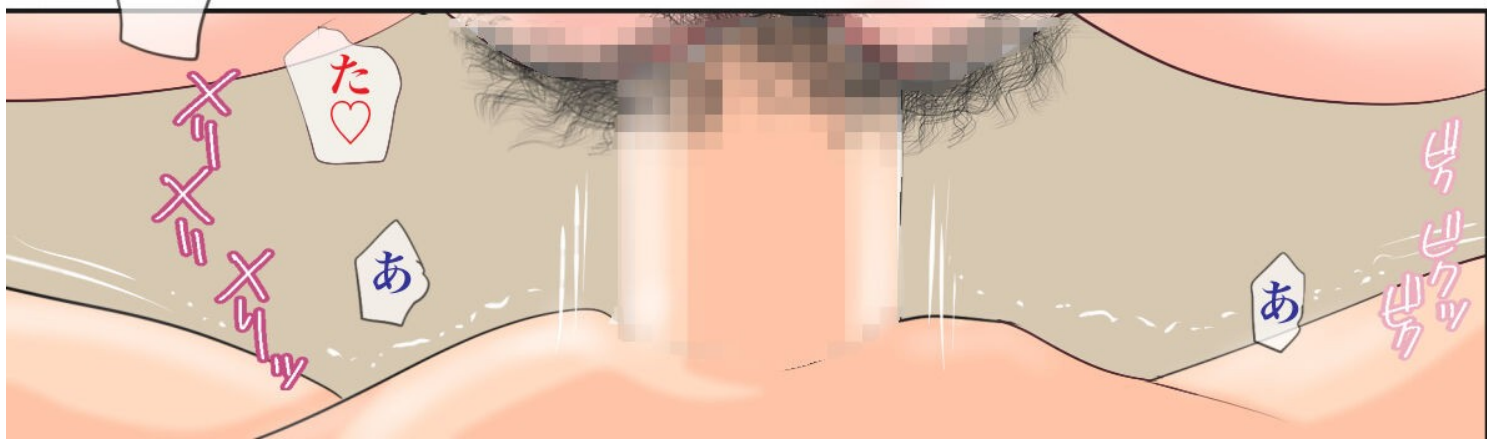
















毎日いれたいんだ!!

童貞を捨てた
このおま○こに…!!

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

い：いい!
す：ごくいいワ
そのまゝ奥まで

おもいきり
突いてちょうだい!

く：ううう：ツ!!

おちんちんをだし入れするこの快感：

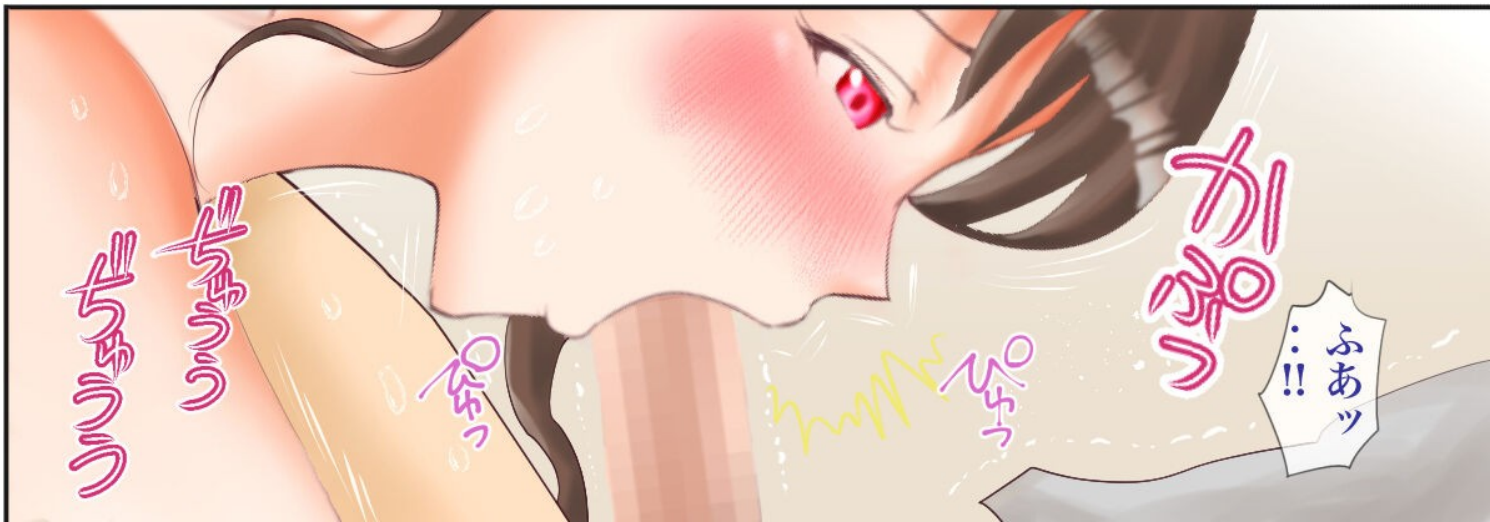
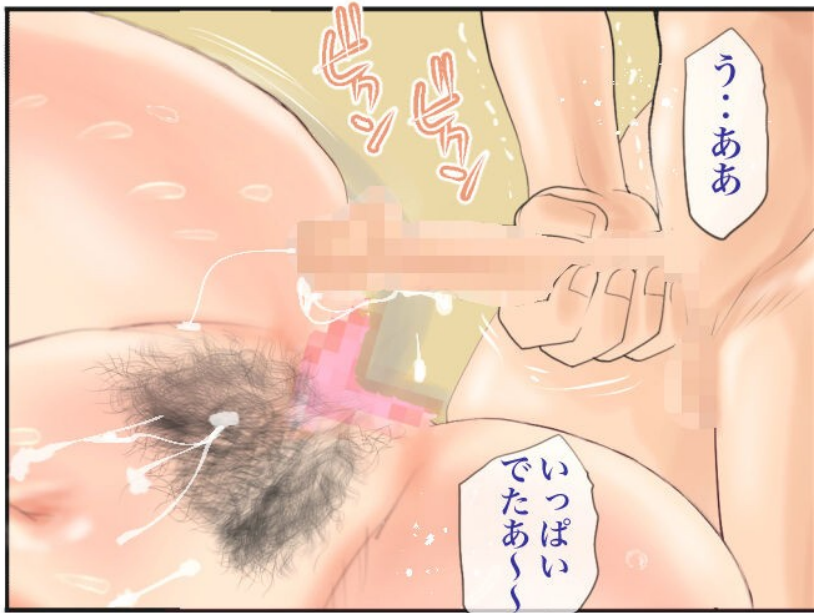
ずずず

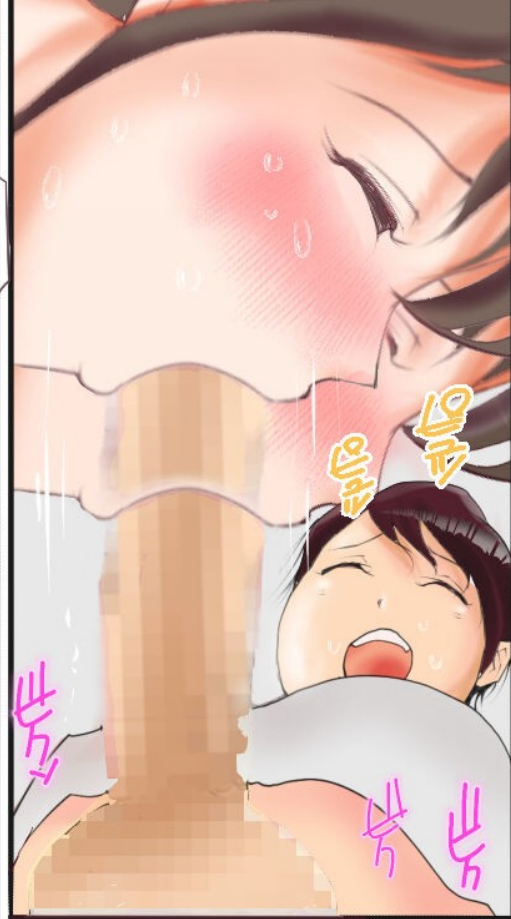
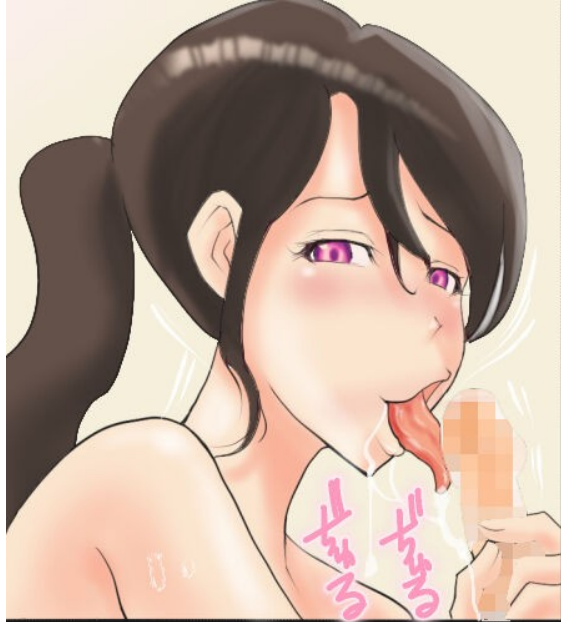
もうたまんない!!!!











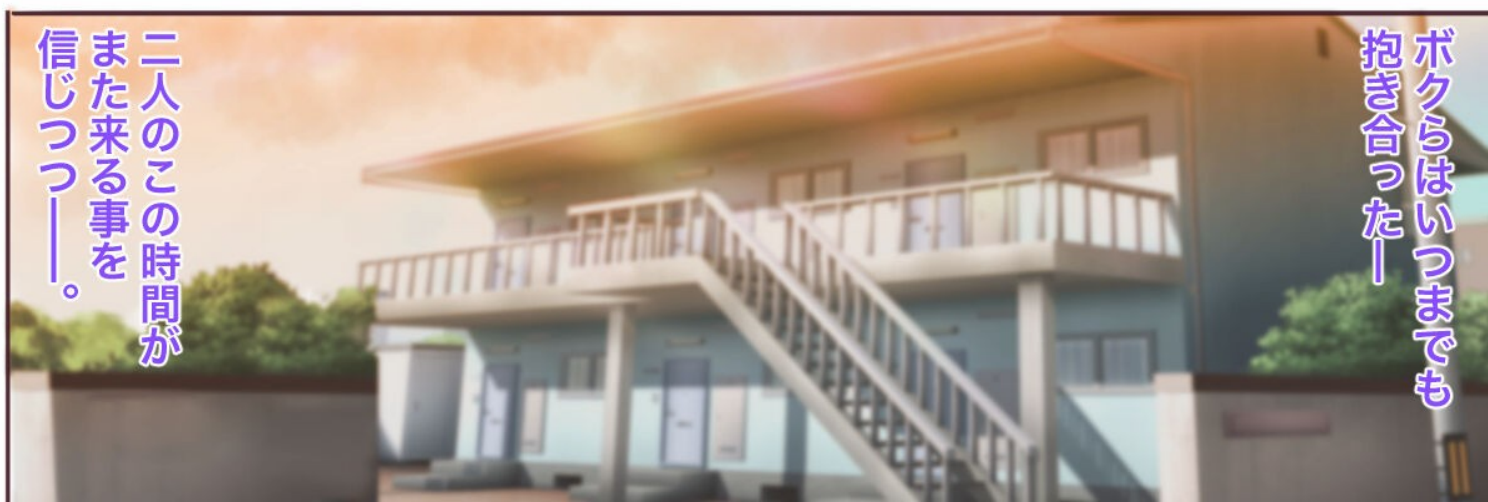


ボク：みずほさんしか
みえない!!

みずほさんじゃなきゃ
ダメなんだようっ!!

うふふ
ありがと…!!

私も久々に
オシナの悦び
感じちゃったワ…!!



ボクらはいつまでも
抱き合っただー

二人のこの時間が
また来る事を
信じつつー。

そして――

二人は何事もなかったように
それぞれの生活へ追われる――



ボクはとゆえば

童貞を捨てた感激ともやもやで
思いうかぶは
いれた時の感覚ばかり……

合格!!

絶対合格!!

……ああ……



隣の奥様に

みずほさん

どうしてもまたいれたい







